

2013 年 6 月 4 日

各 位

会 社 名	日立キャピタル株式会社
代表者名	執行役社長 三浦 和哉
	(コード番号：8586・東証一部)
問合せ先	経営企画部長 安藤 淳一郎 (TEL：03-3503-2118)

「2013～2015 年度 中期経営計画」に関するお知らせ ～持続的成長に向けた“高利益体質”への変革～

日立キャピタルグループは、2013 年度から 2015 年度までの中期経営計画を策定しましたので、その概要を以下の通りお知らせいたします。

■ 2013～2015 年度 中期経営計画の概要 ■

本中期経営計画では、3つの経営フォーカスにより「持続的成長に向けた“高利益体質”への変革」を推進し、最終年度の2015年度において、ROE 8%以上、経常利益 340 億円、OHR(※)63%未満の達成をめざしてまいります。

※販管費分配率

◆トランスフォーメーション

“勝てる経営体質への継続的構造転換”

◆成長戦略の実現

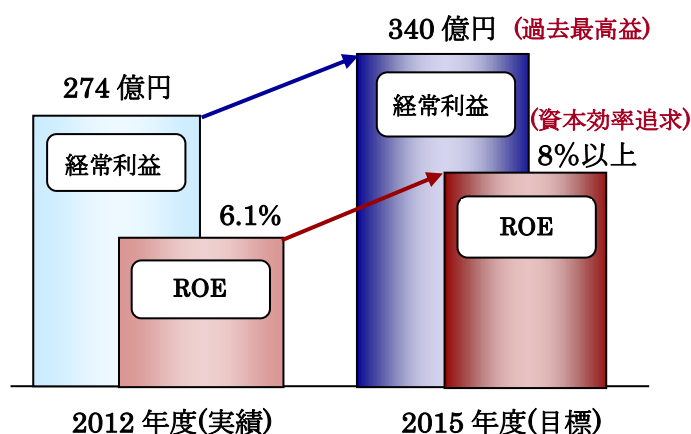
“最適なソリューションの提供”と“地域社会への貢献”

◆経営基盤強化

競争優位の基盤となる“質”へのこだわり

2013～2015 年度 中期経営計画の位置づけ

◆回復から成長ステージへのステップアップ



2015 年度の連結数値目標

	2012 年度	2015 年度
ROE	6.1%	8%以上
経常利益	274 億円	340 億円
OHR	67%	63%未満

注)OHR (販管費分配率)=販売管理費/(営業収益-金融費用)

I. 中期経営計画策定の基本的な考え方

1. 中期経営計画の考え方(概要)について

2015 年度中期経営計画(2013 年度～2015 年度の 3 ヶ年)につきましては、“成長ステージへのステップアップ”と位置付け、当社が持続的成長を成し遂げるため「高利益体質への変革」に向け、次の 3 点を中心とした取り組みを進めてまいります。

- (1) 経営環境が絶えず大きく変化する中、「トランスフォーメーション」つまり、“勝てる経営体質への転換”に向け、継続的に構造転換を図っていきます。
- (2) 成長戦略として日立グループやキーアカウント、社会のニーズに対しマーケットインによる最適なソリューションの提供を図ってまいります。また、グローバルシフトを加速する中、徹底した現地化を進め地域マーケットのニーズに応え、地域社会へ貢献していくことをめざします。
- (3) 競争優位の基盤である、持続的成長の礎となるガバナンスやリスクマネジメントなどの“質”を高め、経営基盤を強化し、ステークホルダーの皆様に安心と信頼をお届けします。

この 2015 年度中期経営計画の次の持続的成長ステージでは『自己資本比率 10%キープ(※)、ROE10%オーバー』を目標と出来るよう経営体質の強化を図ってまいります。

(※)リスクアセットベース

II. 2015 年度中期経営計画を達成するための戦略

1. トランスフォーメーション

― 勝てる経営体質への継続的構造転換 ―

当社グループとしてあるべき姿の実現に向け継続的に構造転換を進めていかなければなりません。高利益体質への変革に向けた活動と位置付け、聖域なき改革を進め、“グローバルで勝てる経営体質への転換”を図っていくことが必要となります。当社グループはこれを“Smart Transformation Project”として継続的に推進し、日立キャピタルグループの「強み」をより進化させ、成長戦略、経営基盤の強化を実現します。

2.成長戦略の実現

— “最適なソリューション提供” と “地域社会への貢献” —

(1) 【日立グループビジネス】 — “One Hitachi” —

日立グループは、社会・お客様が抱える課題に対し、“One Hitachi”としてグループ一体となってソリューションを提供、当社グループも金融サービス部門としての役割を担っております。今後グローバルに日立グループとの事業連携を強化し、日立グループのソリューション提案・実行力を強化していくことで成長戦略を加速していきます。

【主な取り組み】

- ・日立グループとの事業拡大連携と金融サービス機能の提供
- ・日立グループの製造サービスに金融機能を融合することによるソリューション力の強化
- ・日立グループの成長戦略におけるリスクコントロール

(2) 【日本事業】 — ビジネスモデル転換 —

マーケットインによる当社の強みを活かした勝てる分野の見極めと事業性の向上や、社会インフラ、再生可能エネルギーなど、新たなビジネス機会の創出に注力することでビジネスモデル転換を図り、当社グループの持続的成長に向けた利益基盤、経営基盤として収益拡大を目指し、新たな成長戦略に挑戦していきます。

【主な取り組み】

① 成長分野・注力分野

- ・社会インフラ、再生可能エネルギー、ヘルスケア、農業分野等への注力
- ・マーケットニーズに対応し、マーケットインによる新内需の創造

②ニッチ No.1 戦略

- ・ベンダーリース事業におけるナンバーワンポジションの確立
- ・オートリース事業におけるナンバーワンシェアグループの確立

③基盤事業の事業性向上

- ・“Smart Transformation Project” 推進によるコスト構造転換と効率化を継続
- ・低収益事業の継続的見直し

(3) 【グローバル事業】 — 真のグローバル展開の追求 —

当社グループの成長ドライバーとして、アジアを中心とした成長地域に対し、現地化モデルの推進と、日立グループとの事業連携強化を図りながら、ガバナンス強化やリスクマネジメントの高度化といった経営基盤の強化にも取り組み、海外4極(欧州・米州・中国・ASEAN)によるグローバルシフトを加速させ、真のグローバル展開を追求していきます。

【主な取り組み】

① 現地化の推進

- ・徹底した現地化の推進により、「地域社会と共生・貢献するグローバル企業」へ進化

②海外4極(欧州・米州・中国・ASEAN)によるグローバルシフトの加速

- ・グローバルな成長需要への確実な取り組み

以 上